



数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

2021年度 関東・首都圏ブロック第2回ワークショップ

～座談会：数理、情報系が苦手な学生へのデータサイエンス教育～

リテラシーレベルのデータサイエンス教育を進める上で重要な問題の1つは、数学やプログラミングが苦手な学生にどのように教えるかというものである。今回の座談会では、農学部や文系学部で教育を行っている大学教員が集まり、試行錯誤の事例や悩みを共有し、会場の皆様と議論を深めたい。

日時：2021年 8月6日(金) 17:00～18:20

【プログラム】

形式：オンライン

17:00-17:05

挨拶

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 議長
東京大学 数理・情報教育研究センター 北川 源四郎 特任教授

17:05-17:50

座談会 数理、情報系が苦手な学生へのデータサイエンス教育

岡山 毅 茨城大学 農学部 教授
岡 瑞起 筑波大学 システム情報系 准教授
山本 樹 明海大学 総合教育センター 准教授
土山 玄 お茶の水女子大学 文理融合AI・データサイエンスセンター 特任講師
進行：小林亮太 東京大学 数理・情報教育研究センター 准教授

<産学連携シリーズ>

18:00-18:15

企業講演 広告会社で求められるデータサイエンス

ADKマーケティング・ソリューションズ 事業役員兼 Data Chemistry 代表取締役社長
沼田 洋一 氏

<プロフィール> 1988年、旭通信社入社。メディアプランニング室、研究開発部門などを立ち上げ、メディアプランニングサポートシステムの開発と独自の生活者調査の設計を担当。19年にジェイアール東日本企画、東急エージェンシーとのJVである株式会社Data Chemistryを設立。消費者パネルデータと独自のDMPを使ったサービスを展開。編著書に『Media Planning Navigation』（宣伝会議）

18:15-18:20

閉会の辞

東京大学 数理・情報教育研究センター長 駒木 文保 教授

【お申込方法】 Webサイトより事前登録

(事前登録のうえ、アクセス情報を取得してご参加ください) <https://forms.gle/D1nGr6JDAxNzKJCG7>

定員：300名 (お早めにお申込みいただければ幸いです)

関東・首都圏以外の皆様にもご参加いただけます



主催

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム
東京大学数理・情報教育研究センター

参加費：無料

お問い合わせ

東京大学 数理・情報教育研究センター事務局

E-mail: workshop@mi.u-tokyo.ac.jp